

青い平和な空

古堅小学校 五年三組

中村 望姫

青い空、てなんだろう。それは・平和！

今から、六十九年前、日本で一番はげしか
た戦争は、私達が産まれ育った沖縄でおこ
た。

戦争がおこる前の沖縄は、みんなが仲よく
子ども達が毎日、笑っていた。

勉強も一生けん命し、友達とも楽しく遊ん
でいました。

でも、そんな暮らしは、そんなに長くは続
かなかった。

疫具知の浜の海は、いつもキラキラかがや
いていた。でも、その日は、いつもとは全然
ちがう光景だった。アメリカ軍の軍用機も、
あちらこちらに飛んでいた。

青い空は、真っ黒だ。

それは、戦争が始まるという印だ。

そして、戦争は始まった。

若者から、中高年の方達まで、戦争に行か

された。そして、女の方々も、病院とかでは
たらかされました。
そして、子どもやお年寄りの方は、アメリ
カ浜からにげ、必死に涙をこらえて、ガマヤ
墓の中で、ただただこう願っていることしか
できません。
「早く戦争が終わってほしい。」
「青い平和な空にもどってほしい。」
自分の親が、子どもが、兄弟が、おじい、
おばあが死んでいく。殺されていく。そんな
中で、服はボロボロ、体は傷だらけ、食べる
物なんて何も無い。どんなにっらいことか。
こんな中、戦争は、はげしくなっていました。
アメリカ兵に殺されるくらいなら、自分か
ら死んだ方がいい。
と言っ、て、がけから飛び降りる人もいまし
た。
そんな毎日が続き、六月二十三日、沖縄戦
は終わりました。
戦争で亡くなった人は、数万人以上です。

No. _____
罪のない人が殺された。ていうのは、私は考
えられません。

戦争。それは地ごとくです。

No. _____
そんな戦争を、もう二度とおこしてはなら
ない。そうするには、私達若者が、戦争のこ
とを勉強し、次の世代の子達に、戦争の恐ろ
しさ、悲しさを伝えて、絶対に、戦争をしま
い、させない。

青い平和な空守っていきたい。

もつと、もつと、世界が一つになって、全

ての国を、青い平和な空にしていきたい。

永遠に続く青い平和な空にしていきたい。

そして、みんなの笑顔。

これからも、青い平和な空をみんなであ
守っていきこう。